1.　評価結果概要表

評価確定日　平成20年　5月　31日

【評価実施概要】

事業所番号	2271100675
法人名	(有)在宅支援センターふれあい
事業所名	グループホーム　奄美
所在地 （電話番号）	静岡県沼津市本郷町　38－6 055－934－5151

評価機関名	セリオコーポレーション有限会社
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町　4番1号
訪問調査日	平成20年01月30日(水)

【情報提供票より】(平成　19　年　12　月　01　日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成　15　年　03　月　15　日	
ユニット数	2　ユニット	利用定員数計　18　人
職員数	16　人	常勤　5　人，非常勤　11　人，常勤換算　14．2

(2)建物概要

建物形態	単独	改築
建物構造	軽量鉄骨　造り	
	2　階建ての　1　階　～　2　階部分	

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	68,000　円		その他の経費(月額)	22,000　円
敷　金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(　72，000　円)		有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり　1，000　円			

(4)利用者の概要(平成19年　12　月　01　日現在)

利用者人数		18　名	男性　4　名	女性　14　名	
要介護1		5　名	要介護2	5　名	
要介護3		5　名	要介護4	2　名	
要介護5		0　名	要支援2	1　名	
年齢	平均	78.0 歳	最低　69 歳	最高　92 歳	

(5)協力医療機関

協力医療機関名	永野医院　・　杉山病院　・　佐野歯科医院

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

設立法人には、三つのグループホームの他に有料老人ホーム・デイサービス・訪問介護・居宅介護支援等の事業が有る。高い志を持つ社長を中心に組織運営が充実しており、法人管理者会議や各種委員会を設け、各施設の管理者が分担して委員長を勤め、より良い施設を求めてお互いに切磋琢磨する姿がある。このホームでは、管理者を中心に毎月の管理者･全体･フロアミーティングが行われ、運営理念の実現を目指し、職員と一丸となって努力している。利用者全員・家族・職員との1泊温泉旅行・1：1での特別な誕生祝会等を実現し、施設でもこんな暮らしが出来ることを実証し、家族からも大変喜ばれている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目：外部4) 評価結果をスタッフ全員に伝達し、指摘項目は全て改善されていた。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目：外部4) 今回の自己評価票は、管理者とフロアリーダーで作成されていた。折角ホーム内で行われている日常の管理者･全体･フロアミーティングや「セルフチェックリスト」を基に、それを活用し、職員全員で取り組むことが、更なる改善スピードのアップに繋がるものと思われる。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目：外部4，5，6) 運営推進会議は2ヶ月に1回着実に開催され、利用者やその家族も毎回参加している。会議では、入退居状況・要介護度の移り変わり・外部評価・改善事項への取り組み・事故やヒヤリハット等を率直に報告している。参加者からの意見も活発で、それをホームの運営に取り入れている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目：外部7，8) 重要事項説明書に苦情相談窓口が明記され、ご意見箱も設置されている。ご家族の来訪時・TEL時は勿論のこと、毎回運営推進会議に参加するご家族・利用者の率直なご意見に耳を傾け、運営に反映させている。法人グループ全体のプログがあり、「ホーム便り奄美」も頻繁に紹介されている。ホーム独自には、ホームの全体報告と共に、個人別全員にコメントをつけた大きな近況写真が送られ、家族からも喜ばれている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目：外部3) 地域行事や祭典、地域清掃・防災訓練には可能な限り利用者も一緒に参加している。中学校の文化祭など出かける機会や体験学習の受入なども行い、地元の人達との交流に努めている。

2.　評 価 結 果（詳 細）

（ ▒ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
Ⅰ．理念に基づく運営					
1．理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	スタッフの意見を基に作成されたホーム独自の理念「そっと寄り添い　共に生きる」を掲げ、地域に密着した活動が行われていた。また、運営理念説明書や運営規程・重要事項説明書に、地域でその人らしく暮らしていける表現が見られた。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の申し送り時にスタッフ全員で理念を読み上げ、常に念頭において仕事に取り組み、その実践に取り組むと共に、認知症介護の名著を輪読し、更なる意識改革に努めている。		
2．地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域行事や祭典、地域清掃・防災訓練には可能な限り利用者も一緒に参加している。中学校の文化祭などに出かける機会や体験学習の受入なども行い、地元の人達との交流に努めている。		
3．理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義はよく理解され、昨年の外部評価の指摘項目は、全て改善されていた。しかし、今回の自己評価票は、フロアリーダーと管理者で作成されていた。	○	自己評価票作成に当たっては、ホーム内で行われている「セルフチェックリスト」を活用し、職員全員で取り組むことが、更なる改善スピードのアップに繋がるものと思われる。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回着実に開催されている。毎回多彩な活動に裏付けられて話題に事欠かず、利用者・家族・地域代表・行政からの意見や要望も活発に出され、それらがサービス向上に生かされている。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市や包括支援センターなどで開催される会議・研修会にも参加し、他のグループホームの見学・情報交換・意見交換などを行い、サービスの質向上に取り組んでいる。		
４．理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	法人ふれあいグループ全体のブログがあり、「ホーム便り奄美」も90回近く紹介されている。ホーム独自には、ホームの全体報告と共に、個人別全員にコメントをつけた大きな近況写真が送られ、家族からも喜ばれている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口が明記され、ご意見箱も設置されている。ご家族の来訪時・TEL時は勿論のこと、毎回運営推進会議に参加するご家族・利用者の率直なご意見に耳を傾け、運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	先ず職員の異動が無いよう配慮している。最近ユニットケアを提唱し、フロア毎に職員全員で話し合い、利用者との馴染みの関係強化に努めている。		
５．人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人グループ全体で職員からアンケートを取り、受講したい研修内容を聞き出し、意見の集約を行い、スタッフのレベルに合った内容で社内外研修を実施している。毎月の社内研修では必ず研修記録提出を義務付け、管理者からのフィードバックも行われている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	沼津中央地区の包括支援センターの会議やGH連絡会議に参加し、他のグループホームスタッフとの交流を図り、意見交換、情報収集を行っている。施設見学や、使用書式などの情報提供等を行い、お互いの質の向上に努めている。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	センター方式を利用したアセスメントにより、事前に利用者の馴染みの生活を把握し、家族の協力を得て馴染みの環境を整え、本人が安心してサービスを利用できるよう工夫している。		
2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者を人生の先輩として尊敬し、日常の生活の中で教えられることも多く、共に支えあえる関係作りをしている。調理の場面では、得意な利用者に教えられながら一緒に行うなどしている。		
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1．一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時の本人・家族との面談や生活歴から個々の出来ること、得意なこと、希望などを把握し、日々の生活の中で実践できるよう取り組んでいる。利用者一人ひとりの状況把握や職員間での気付きを共有し、日々のケアに活かしている。		
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	本人や家族からの要望を基に、ケアマネージャーが各利用者担当の職員を含め毎月のユニットミーティングで課題をあげ、医者、看護士の意見も加味して介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	各居室担当職員が中心になって、毎月のユニットミーティング、カンファレンスにて状況変化を確認し、変化が生じた場合はその都度見直しを行っているが、大きな変化の無い場合は6ヵ月ごとの見直しとなっている。	○	毎月のユニットミーティングにて生活目標プランの確認が行われているので、定期的に（少なくとも3ヶ月）介護計画書の見直しと家族への説明が望まれる。

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
３．多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	系列3ホームでの利用者の交流・各種行事への相互参加・職員の協力体制等が築かれている。また、病院の往受診なども本人や家族の希望に応えるよう努めている。		
４．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等と話し合い、かかりつけ医の継続やホーム提携医療機関への移行など、適切な医療が受けられるように支援している。月１回内科、整形外科の訪問診療や毎週の口腔内検診、グループ内看護士による毎日の巡回も実施している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期対応の確認書がホーム受付に置かれ、ホームで出来ること、出来ないことなどを利用者や家族と十分な話合いを行い、同意書を得ている。運営推進会議でも終末期対応の説明の機会を設け、職員間でも話合い、方針を共有している。		
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 １．その人らしい暮らしの支援 （1）一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者への声かけや対応は、一人ひとりの状況に合わせ周囲に配慮して行い、職員同士気付きを注意しあっている。ホーム便りやブログへの利用者写真掲載の承諾を得たり、個人情報等の書類は専用の書棚に保管している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者本位の生活を重視して、利用者一人ひとりのペースに合わせて日々の体操や掃除、買い物、散歩等柔軟に対応した支援が行われている。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
（2）その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は利用者の希望を取り入れながら作られ、食事の準備や片付けなど男女を問わず出来ること、得意なことを見極めて利用者と職員が一緒に行い、職員と利用者が同じテーブルを囲んで楽しく食事できるよう、雰囲気づくりも大切にしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的な入浴日を決めてはいるが、利用者のその日の希望を聞き、一人ひとりの希望やタイミングに合わせた入浴支援が行われている。		
（3）その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	アセスメントや日常生活の対話の中から、その方の得意なことや趣味を把握し、活躍の場を提供している。園芸、野菜作り、手芸、調理など楽しみごとややる気を引き出す演出を工夫している。利用者のこんなことが出来るを見つけることが職員の喜びとのことであった。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の散歩や買い物の他、季節の花見やピクニック・ドライブ・外食など、利用者の希望や健康状態、天候に配慮しながら、外出機会を創り出している。三島大社への初詣、家族との1泊旅行やキグレサーカス見物など普段行けない場所への企画も行われている。		
（4）安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は建物の構造上自動ロックがかかってしまうが、外出希望時の開錠やベランダウッドデッキへの出入りは自由になっていた。	○	自動ロックは建物構造上の問題であり、外出願望の強い利用者への対応は大変だと思われるが、利用者や来訪者の自由な行き来を確保するための取組みも期待したい。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災委員を中心に年2回の防災・避難訓練を実施している。法人グループ全体の防災委員会も2ヶ月に1度開催されており、細部に渡り検討され、訓練時の反省を基に具体的な実施要綱を作っている。運営推進会議に消防署の出席もあり、地域との協力関係も作られている。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
（5）その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスガイドを参考に、医師との連携により一人ひとりの状態に合わせ食事・水分摂取量の管理・記録を行っている。		
2．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり （1）居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間の壁や廊下などに、利用者よる装飾物やいろいろな行事などの写真が掲示され、利用者の活動状況を表す工夫がなされている。ウッドデッキ周囲に花壇を置いたり、要所への手すり取り付けや段差解消の工夫など、あちこちに安全で快適に過ごせる配慮が覗えた。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の使い慣れた家具や化粧道具、家族の写真や絵などが飾られていたりして、自宅と同じように居心地よく過ごすことができるようにしている。		